

# ななすからすやま

No.154

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



特集 那須烏山市第2次総合計画を策定…	2
第3回市議会定例会	8
山あげ祭のまじごころを紹介します！	10
南那須支部消防操法大会	12
市民がスポーツで大活躍！	14
小・中学校6校で運動会・体育祭	16
カラセツめぐり市	18
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム…	19
まちのわだい	20
インフォメーション	22
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより	24

2018

July



元気いっぱいに出陣！(6月2日 江川小運動会)

地域の魅力と活力にあふれる暮らしやすいまちを目指して…

# 那須烏山市第2次総合計画 を策定

市では、平成20年3月に「那須烏山市総合計画」を策定し、「みんなの知恵と協働による『ひかり輝く』まちづくり」を基本理念にまちづくりを進めてきました。

この間、本市を取り巻く社会経済情勢は、想定を上回る人口減少や少子高齢化など大きく変化してきました。これらの状況を踏まえたくうえで、本市の地域特性や資源を最大限に活かしたまちづくりを推進すると共に、まちづくりの主体となる市民や事業者、行政などがそれぞれの役割を認識し、目指すべき市の将来像を実現するための新たな指針となる「那須烏山市第2次総合計画」を策定しました。

第2次総合計画は、前総合計画の基本理念を継承したうえで、「地域の魅力と活力にあふれる暮らしやすいまち『那須烏山市』」を将来像に掲げ、その実現に向け取り組むこととしています。

今月号では、「第2次総合計画」の概要をお知らせします。また、詳しい内容については、市ホームページをご覧ください。総合政策課 ☎0287-11112までお問い合わせください。

## 計画の構成と期間

第2次総合計画は、長期的な視点に立った計画的な市政運営を進める観点から、本市の目指すべき将来像を描き、その実現に向けた基本的な考え方や目標、具体的な内容を示した「まちづくりの指針」とするため、「基本指針（平成30年度から34年度までの5年間）」と「実施計画（3年間の事務事業を示したものである）」で構成しています。

基本指針は「本市の将来像（基本構想）」と「将来像実現に向けた計画（基本計画）」による2部構成となっています。また、実施計画は、基本計画を達成するために必要な主要事業を具体的に示したものであり、毎年、ローリングにより見直しを行います。（表1参照）

## 市民の意見などの反映

計画策定にあたり、市総合政策審議会により意見提言をいただくとともに、市民を対象とした市民意向調査やパブリックコメントの結果を反映しました。

さらに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成28年3月）」策定時において、「若い世代や高校生のこれからの生活に関する意識調査」を実施しており、その際に把握した人口減少の抑制、雇用の場の創出、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくりなどに対する意向結果も反映しています。

▼表1：「第2次総合計画」の基本構成



## まちの目指すべき姿

「みんなの知恵と協働による『ひかり輝く』まちづくり」を基本理念とし、本市のまちづくりの現状・課題、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」による目標などを踏まえ、市民と一体となった持続可能なまちづくりに取り組みため、5年後の目指すべきまちの将来像を掲げます。(表2参照)

## 将来像実現のための5つの基本目標

本市の目指すべき将来像を実現するために、「健康・福祉」「教育・文化」「経済産業」「住環境・都市基盤・防災・環境」「協働・行政経営」の5つの分野ごとに基本目標を掲げます。

### 【基本目標1】安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

◇若い世代が結婚を前向きにとらえられる意識の醸成、妊娠期から子育て期に至るまでの各段階に応じた多様な支援など、切れ目なく提供していく体制の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

◇医療・保健・福祉の総合的支援体制と地域全体で支え合う仕組みの充実を図り、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく生きがいをもった暮らしができるまちづくりを目指します。

### 【基本目標2】夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり

◇学ぶことの意義を理解し意欲をもって幅広い知識と教養を身に付け、豊かな心やたくましくしなやかに生きるための健康、体力を身に付けた子どもの育成を目指します。

◇自己の人格を磨き、豊かな人生を送るため、文化的教養を高め、スポーツに親しみ、健康な市民の育成を目指す生涯学習社会の形成を目指します。

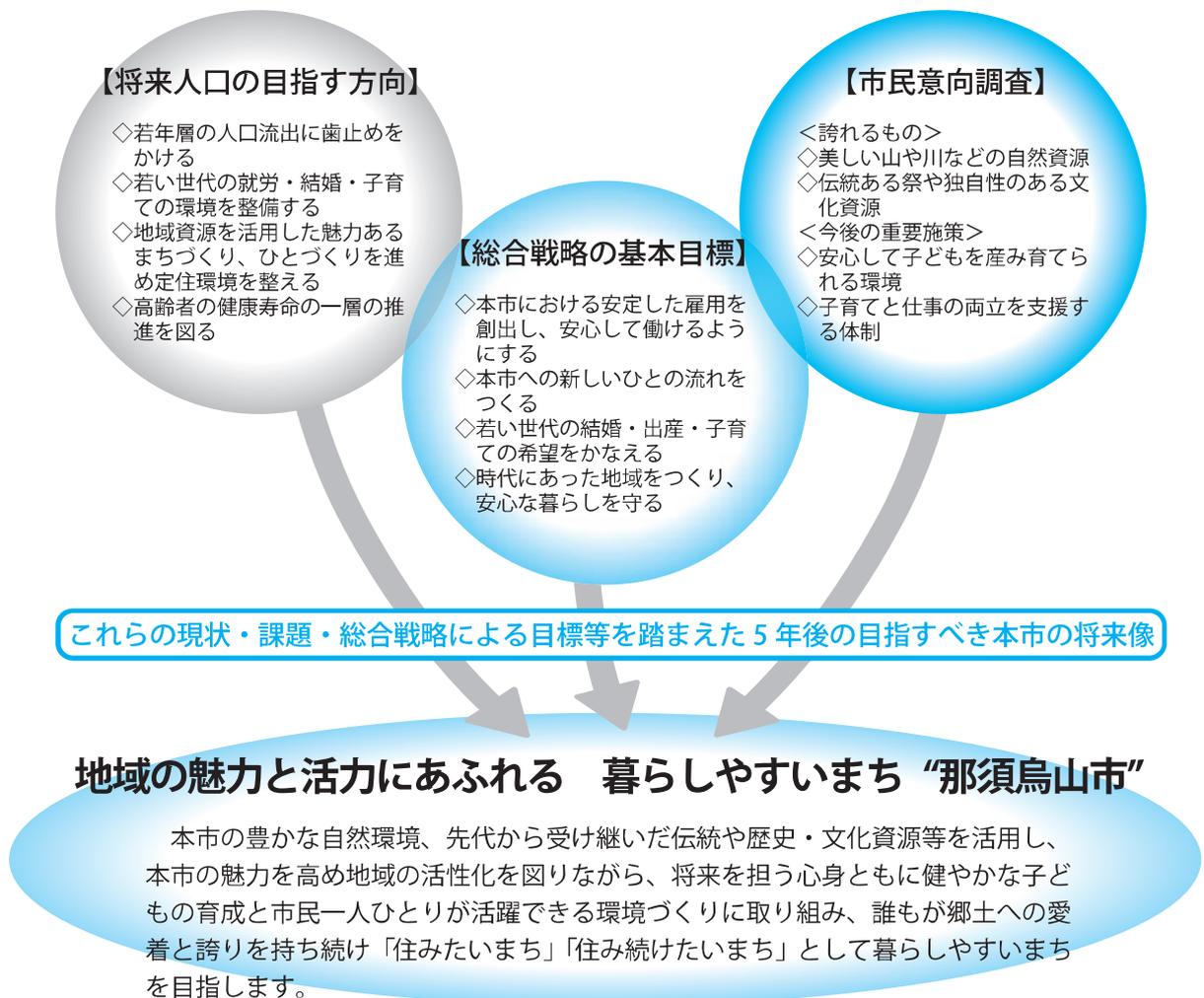
### 【基本目標3】地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり

◇地域資源や立地の特性を活かした産業振興や安定した魅力ある雇用創出を図るとともに、やりがいと充実感を感じることができるワーク・ライフ・バランスの実現に取り組み、活力による賑わいのあるまちづくりを目指します。

### 【基本目標4】定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

◇本市の魅力を最大限に引き出し、市内在住者が「住み続けたいまち」として、また、市外からは新たな定住の場として多くの人に訪れてもらい、豊かな

▼表2：本市の目指すべき姿



自然や歴史・文化に触れ、他では味わうことのできない魅力により「住みたいまち」となるまちづくりを目指します。

◇時代に即した都市環境の形成や交通機能の充実、日々の生活の安全・安心の確保など、暮らしの利便性を高めるまちづくりを目指します。

◇本市の豊かな自然環境の保全・活用を図るとともに、省エネルギーなどの推進により、環境に配慮したまちづくりを目指します。

**【基本目標5】市民と共に築く持続可能なまちづくり**

◇地域や市民との協働を推進し、市民に開かれた行政経営のできるまちづくりを目指します。

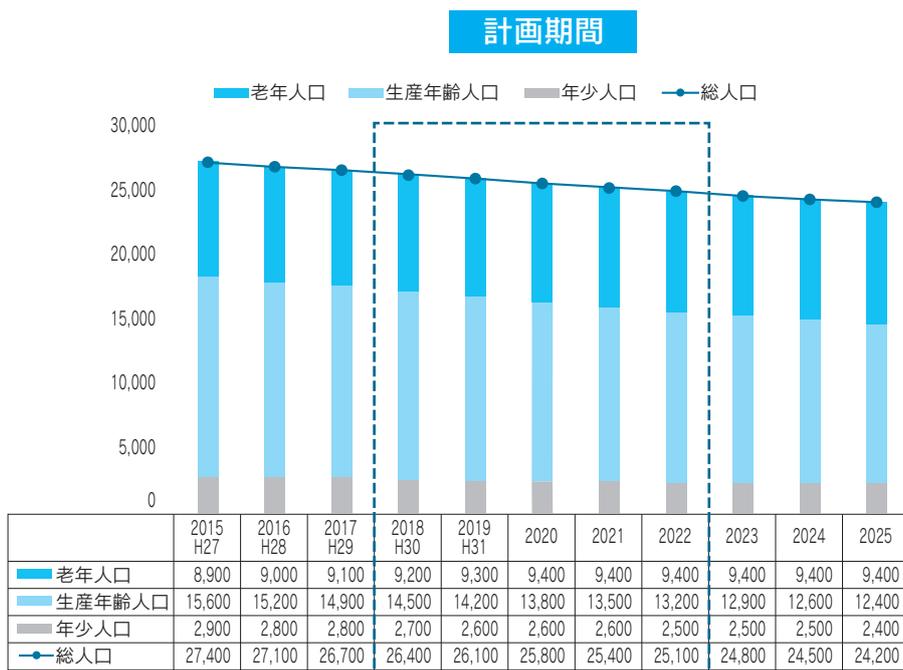
◇多様な市民のニーズや時代の変化に対応するため、限られた資源や財源の中で、効率的な行政サービスを図り、持続可能で自立的な行政経営のできるまちづくりを目指します。

**将来の人口フレームと都市構造**

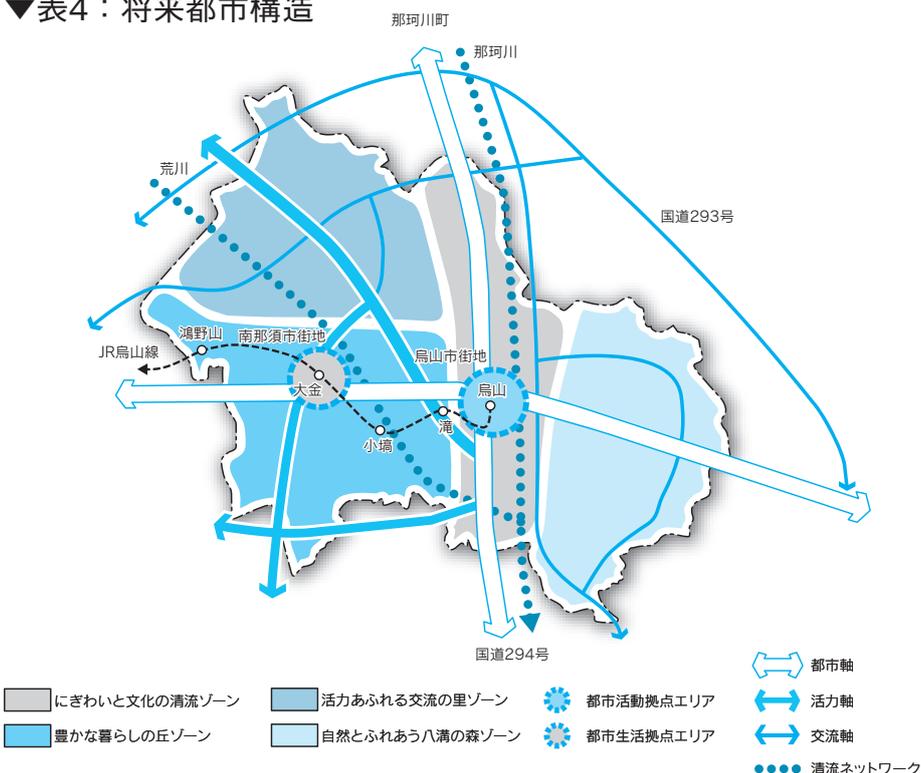
将来の人口フレームについては、「総合戦略」の人口ビジョンに基づき、平成52年（2040年）に2万人、72年（2060年）に1万6千人の人口規模を設定します。計画期間の5年間の推移を想定すると、34年（2022年）の人口は約2万5千人となります。

将来の都市構造については、2つの

▼表3：将来の人口フレーム



▼表4：将来都市構造



**政策・施策の基本方向**

市街地の適正な機能分担・連携の強化、居住環境の向上や産業の振興に資する土地利用の誘導、市内や都市間の交流・連携を高める連携軸の整備により、地域の一体的発展が図られるよう設定しています。（表3、4参照）

本市が目指すべき将来像の実現に向

けた「5つの基本目標」を達成するため、政策の基本的な方向及び政策の柱、そして重点的に取り組む施策を掲げ、まちづくりを展開していきます。

具体的には、20の政策、62の政策の柱、110の重点施策、242の重点施策に関する主要事業を設定しています。

また、これらの政策、施策などを展開するにあたり、3つの視点（①市民

と向き合う全員参加のまちづくりの推進②厳しい財政状況の立て直し③広域的な自治体間の連携の強化）と、4つの取り組み（①将来を見据えた計画的な施策の展開②横断的な政策・施策の展開③成果指標の設定及びPDCAサイクルの確立④中長期財政計画の見直し及び財源の確保）を基本に計画を実施していきます。（次ページ一覽参照）

# 「5つの基本目標」を達成するための政策の基本的な方向及び政策の柱

## 基本目標1

### 安心できる子育てと健康な暮らしを支え合うまちづくり

**政策1-1 結婚・妊娠・出産・子育て支援の充実**

未婚化・晩婚化・晩産化などの進行による年少人口の減少に歯止めを掛けるため、若い世代が結婚や子育てに対して抱く希望がかなえられるよう、地域全体で応援する意識の醸成や結婚・妊娠・出産・子育てを支えていく環境づくりに取り組みます。

**政策の柱**◆結婚及び婚活支援の充実◆妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制の充実◆保育の質・量の充実◆子育てに関わる経済的負担の軽減

**政策1-2 健康・保健・医療の充実**

医療費削減に向けた健康づくりと、

地域医療の拠点である那須南病院の機能充実として、婦人科の創設等を検討します。また、在宅医療が可能となる地域医療体制の機能充実や普及啓発を図り、市民一人ひとりが健やかに生活できる環境づくりに取り組みます。

**政策の柱**◆健康づくりの推進と健康支援◆地域包括ケアシステムの構築と地域医療体制の充実◆国民健康保険の適正運営

**政策1-3 障がい者・高齢者の福祉の充実**

障がい者・高齢者を地域全体で支え合う仕組みづくりと自分らしく地域の中で活躍できる生きがいづくりに取り組みます。また、介護保険事業の適正

なサービス運営や後期高齢者医療制度の適正な運営に取り組みます。

**政策の柱**◆障がい者の自立支援及び生きがいづくりの推進◆高齢者の自立支援及び生きがいづくりの推進◆介護保険制度の安定的な運営◆後期高齢者医療制度の適正運営

**政策1-4 地域福祉の充実**

子ども、障がい者、高齢者など全ての住民が、お互いに支え合い、安心して暮らせる環境づくりに向けて、地域福祉活動の充実や気軽に相談できる窓口体制の充実を図るとともに、地域による見守体制の強化充実に取り組みます。

**政策の柱**◆地域の福祉活動及び地域福祉基盤の充実

**政策の柱**◆生涯学習活動及び環境の充実◆グローバル人材の育成◆スポーツ活動の推進◆スポーツ施設の充実

**政策2-3 文化の振興**

文化芸術活動への支援充実を図るとともに、ユネスコ無形文化遺産に登録された「烏山の山あげ行事」などの歴史的、伝統的文化を保護、継承します。また、地域の貴重な文化的、自然的資源を活用したジオパーク構想活動と連携し、幅広い文化振興に取り組みます。

**政策の柱**◆歴史・文化・伝統を育む環

## 基本目標4

### 定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり

**政策4-1 住環境の充実**

地域の特性や人口規模に見合った都市基盤の整備と日常生活の中で容易に移動できる交通手段の確保に取り組みます。また、市民の憩いの場である公園・緑地等の維持管理の体制づくり、定住支援や空き家活用など居住環境の確保に取り組みます。

**政策の柱**◆コンパクトシティを基本としたまちの形成◆公共交通環境の充実◆良質な住環境と市民の憩いの場の環境づくり◆定住支援の充実

**政策4-2 道路交通網の整備**

本市の将来都市構造による道路交通の役割や地域のニーズに応じた円滑な交通の確保に向けて、計画的かつ効率的な道路整備に取り組みます。また、定期的な点検、計画的な補修を行う「予防保全型」の維持管理に転換し、

道路施設等の長寿命化に取り組みます。

**政策の柱**◆効率的・効果的な道路整備◆道路・橋りょう管理の充実

**政策4-3 上下水道の整備**

上水道・簡易水道事業の統合再編や計画的な水道施設・設備の維持管理、上水道会計の経営の健全化に取り組みます。また、公共下水道事業の推進や合併浄化槽の普及促進を図るとともに、下水道事業等会計の経営の健全化に取り組みます。

**政策の柱**◆安定した水の供給◆公共下水・集落排水の推進◆合併浄化槽の普

及促進

**政策4-4 地域情報化の推進**

ホームページやSNSによる情報発信の強化、マイナンバー制度を活用したICTの利活用、防災情報システム等の再構築等により地域情報化を推進するとともに、コンビニ交付サービスや統合型GIS導入等に向けた行政情報化の推進に取り組みます。

**政策の柱**◆地域情報化の推進◆行政情報化の推進

**政策4-5 消防・交通・防犯対策の推進**

自主防災組織の育成や防災システムの再構築等による防災対策の推進、消防団員の確保・活動の充実や災害時の業務継続計画、福祉避難所の行動計画の策定による災害時の対応力の強化を図ります。また、防犯体制の強化、交通安全対策の強化に取り組みます。

**政策の柱**◆防災対策の推進◆災害対応力の強化◆防犯対策の推進◆交通安全対策の推進

**政策4-6 自然・生活環境の保全**

再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進、さらに、元気な森づくり県民税を活用した里山林の整備による自然環境の保全に取り組みます。また、ゴミの減量化を図るとともに、那珂川町と連携した「3R処理施設・し尿処理施設の整備を検討します。

**政策の柱**◆自然環境の保全・活用◆生活環境の保全

### 夢を持ち、夢の実現に向けて歩む力をはぐくむまちづくり

## 基本目標2

**政策2-1 学校教育の充実**

本市の子どもたちが、幅広い知識と教養を身に付けるとともに、地域と連携した郷土愛を育む学習機会の拡充やグローバル社会で活躍できる多様な人材を育成する学校教育の推進など、特色ある教育・学習機会の提供を図りながら学力の向上に取り組めます。

学校施設の充実と適正配置◆高等学校教育の支援

**政策2-2 生涯学習の充実**

豊かな人生を送るため、文化的な教養を高め、スポーツに親しみながら健やかな暮らしを実現する生涯学習の充実に向けて、いつでも自由に学ぶことができる学習機会の充実と健康の維

政策の柱◆学力向上のための教育活動と学習支援の充実◆学習環境の充実◆

持・増進に向けたスポーツ振興の充実に取り組みます。

境づくり◆文化財の保護・継承と有効活用

基本目標5  
市民と共に築く持続可能なまちづくり

### 基本目標3

## 地域資源の魅力創出と産業活力による賑わいあふれるまちづくり

### 政策3-1 雇用の確保

安定した雇用を創出するため、ハローワーク等との連携強化を図ります。また、地元企業への就労支援や創業しやすい環境づくりのほか、女性が活躍できる仕組みづくりや障がい者・高齢者の雇用確保、ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組みます。

### 政策の柱◆雇用支援体制の充実◆女性の活躍促進◆ワーク・ライフ・バランスの推進

### 政策3-2 農林水産業の振興

農林業後継者の育成・確保に向けた支援策の拡充、八溝そばをはじめとする

るブランド農業の推進、農商工連携による6次産業の推進、八溝材の積極的な活用による林業の振興により農林業の生産性向上と高付加価値による稼げる農林業への転換に取り組みます。

政策の柱◆農業振興体制の充実◆農業担い手の確保◆農業所得・生産力の向上◆林業・水産業の振興

### 政策3-3 商工業の振興

商工会や金融機関等との連携強化を図り、中小企業の振興に関する施策を推進します。また、商店会等による自主的な商業活性化活動、空き店舗の有効活用、地域資源の活用による新事業

の創出、既存企業の事業拡大及び企業誘致を支援します。

政策の柱◆中小企業の振興◆商業活性化の支援◆新事業創出及び企業誘致の推進

### 政策3-4 観光の振興

観光産業の創出と持続可能な観光振興、豊富な地域資源を活用した「まちなか観光」の再構築を図ります。また、民間を主体とした観光推進体制の確立を目指すとともに、観光客の受け入れ基盤を整備するなど、交流人口増加による賑わいの創出に取り組みます。

政策の柱◆地域資源を活用した観光地域づくりの構築◆観光をけん引する推進体制の確立◆観光客の受け入れ基盤整備

### 政策5-1 市民の地域コミュニティ強化と協働のまちづくりの推進

自治会や関係機関との連携を強化し、コミュニティ活動の充実に取り組みます。また、広聴・広報機能の充実や市民参画の機会の拡充、本市の魅力発信するための情報発信体制の整備や積極的な情報提供による行政の透明性の向上に取り組みます。

### 政策の柱◆コミュニティ活動の充実◆まちづくり活動の充実◆広聴・広報機能の充実◆市民参画や協働に資する情報の共有化

政策5-2 行財政改革の推進  
中長期財政計画を踏まえた行財政改革や市役所の本庁方式への移行、公共施設の適正配置に取り組みます。また、補助金等の見直しや職員数の適正な定

員管理、さらには、税の徴収強化、未利用財産の処分、ふるさと納税制度により歳入の確保に取り組みます。

政策の柱◆公共施設の適正配置◆事務事業の見直し◆組織の見直し及び定員管理の適正化◆安定した歳入の確保

### 政策5-3 人材の育成・確保

公共サービスの新たな担い手として、ボランティア団体等の育成・確保に取り組みます。また、地方創生を推進するため、産官学の連携、職員研修、人事評価制度の充実を図り、職員の人材育成と専門性を有する人材の確保に取り組みます。

政策の柱◆ボランティア団体等の育成・確保◆職員の人材育成と専門性を有する人材の確保

## 那須烏山市第2次総合計画の策定にあたって

那須烏山市長

川俣 純子



本市を取り巻く社会経済情勢は、この10年間で人口が4,000人以上減少するなど、本格的な人口減少・少子高齢化社会の到来を迎えております。人口減少は、消費市場の規模縮小ばかりでなく、地域経済の縮小により住民の経済力の低下につながり、地域のコミュニティ機能の低下や伝統文化の保存・継承が困難になるほか、空き家の増加による生活環境の悪化など、地域社会の様々な基盤への影響が考えられます。

少子高齢化・人口減少に対応するためには、若者の就労支援等による地元への定住促進や子育て環境の充実、高齢者の健康な状態を保ち地域社会に参加できるよう地域で支え合う仕組みづくりなどが必要となっています。

このような中、将来にわたって住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、持続可能なまちづくりを目指し、平成30年度から5年間の「第2次総合計画」を策定いたしました。本計画では、将来像の実現に向け「市民と向き合う全員参加のまちづくり」「厳しい財政状況の立て直し」「広域的な自治体間の連携強化」の3つの大きな柱により、本市のまちづくりの課題解決に向けて政策・施策に取り組むこととしております。

計画策定にあたりましては、議会との密接な連携のもと、「市総合政策審議会」により意見・提言をいただくとともに、市民を対象とした市民意向調査やパブリックコメント、平成28年3月に策定いたしました「市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を反映いたしました。

今後は、この計画を基に、本市の将来像の実現に向け、市民一人ひとりが笑顔に満ちあふれ、元気で活気ある那須烏山市を創生してまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



# 平成30年度補正予算、条例の一部改正、 人権擁護委員の推薦など4議案を審議

平成30年第3回市議会6月定例会が、6月5日(火)から11日(月)までの5日間の日程で開かれ、平成30年度補正予算や条例の一部改正、人権擁護委員の人事など4議案が原案どおり可決し、1件を報告しました。  
なお、詳しくは、議会事務局 ☎0287-8817114 までお問い合わせください。

## 平成30年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ4268万9千円増額し、補正後の予算総額を113億6268万9千円としました。

主な内容は、外壁の剥落防止など烏山庁舎の外部補修の工事請負費800万円、畜舎や堆肥舎などを整備するための畜産担い手育成総合整備事業補助金として2608万5千円、本年10月に開催される烏山城築城600年記念事業に関する経費として、「なすからすやま おもてなし手帖」の増刷費97万2千円、記念事業の会場設備費など252万7千円及びジオサイトプレミアムカードの作成費など53万7千円です。

## 条例の一部改正

・地方税法等の一部を改正する法律、地方税法施行令等の一部を改正する政

令が平成30年3月31日に公布されたことに伴い、「市税条例」を一部改正しました。

・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、放課後児童支援員の資格要件の拡大及び放課後児童支援員の「学校の教諭となる資格を有する規定」の明確化を図るため、「市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」を一部改正しました。

## 人権擁護委員を推薦

人権擁護委員の栗正俊氏及び藤川伸一氏が平成30年9月30日に任期満了となることに伴い、後任として引き続き藤川伸一氏と、新たに矢口千賀子氏を候補者として推薦しました。

## 特別委員会を設置

議員発議により、3つの特別委員会を設置しました。(敬称略、◎は委員長、○は副委員長)

【JRR烏山線利用促進等特別委員会】  
◎高田悦男、○荒井浩二、青木敏久、

堀江清一、滝口貴史、相馬正典、田島信二、久保居光一郎  
【議会改革特別委員会】

◎中山五男、○矢板清枝、興野一美、福田長弘、村上進一、小堀道和、渋井由放、沼田邦彦、平塚英教  
【庁舎整備検討特別委員会】  
◎久保居光一郎、○渋井由放、青木敏久、興野一美、堀江清一、荒井浩二、福田長弘、村上進一、矢板清枝、滝口貴史、小堀道和、相馬正典、田島信二、沼田邦彦、中山五男、高田悦男、平塚英教

## その他

平成29年度一般会計繰越明許費繰越計算書を調製し、庁舎整備費1354万4千円、畜産振興費2192万円、河川総務費(急傾斜地崩壊対策事業費)300万円、武道館施設整備費4430万円の4つの事業を繰り越したことを報告しました。



今回初めて「庁舎整備検討特別委員会」が設置されました。今後、庁舎整備に関する調査・研究が進められます。



前山の立ち上げを体験。



踊りの稽古に参加する生徒。

## 烏山高の生徒が

# 烏山の山あげ行事を体験

烏山高では、地域社会で活躍する人材育成などを目指す地域学習「烏山学」の一環で、6月9日(土)、山あげ会館などでユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」の体験学習を行いました。

昨年に引き続き2回目の開催となった体験学習では、今年初の山あげ行事の当番町「泉町」をはじめ、輪番制に加わる全6町の若衆、烏山山あげ保存会芸能部会が協力しました。

体験には、1年生約120人と希望する3年生が参加。若衆や芸能部会などに指導を受けな

がら、野外歌舞伎の舞台背景となる高さ約7メートルの「前山」の立ち上げや、「館」の組み立て、小屋台引き体験のほか、踊り、三味線、お囃子といった芸能体験なども行われました。

初めて前山の立ち上げなどを体験した同高1年の新井健介さん(神長)は、「今までは祭りを見て楽しむだけだったけれど、若衆になったつもりで体験してみても伝統の重みやチームワークの大切さがよく分かった。自分にできることがあれば、今後手伝いたいと思った」と話していました。

# 那須烏山市教育委員会会報

30年度「第1四半期」4月～6月

## 第5回教育委員会(4月27日)

- 就学指定校の変更を承認
- 区域外就学の許可を承認
- 30年度那須烏山市奨学生の決定を承認
- 30年度那須烏山市立小中学校主任等を承認
- 30年度那須烏山市立小中学校評議員の委嘱を承認
- 30年度市費非常勤講師等の配置を承認

- 那須烏山市文化財保護審議委員会委員の任命を承認

## 第6回教育委員会(5月22日)

- 区域外就学の許可を承認
- 要保護及び準要保護児童生徒の認定を承認
- 30年度那須烏山市一般会計(教育費関係)補正予算(第1号)を決定

- ▼その他の出席
- ・4月2日(月)：教育委員会事務局職員及び教職員辞令交付式
- ・4月10日(火)：中学校入学式
- ・4月11日(水)：小学校入学式
- ・4月23日(月)：烏山中経営訪問

- ・4月24日(火)：南那須中経営訪問
- ・5月1日(火)：七合小経営訪問
- ・5月7日(月)：烏山小経営訪問
- ・5月14日(月)：境小経営訪問
- ・5月14日(月)：塩谷南那須地区教育委員会連合会総会出席
- ・5月21日(月)：江川小経営訪問
- ・5月22日(火)：荒川小経営訪問
- ・5月26日(土)：南那須中、烏山中体育祭出席
- ・6月2日(土)：江川小、境小、烏山小、七合小、南那須特別支援学校春季運動会出席

# 98自治会が連携し、住みよい地域づくりに向けて 那須烏山市自治会連合会を設立

5月18日(金)、烏山公民館で那須烏山市自治会連合会設立総会が開催されました。

これまで非常勤特別職としての行政区長・副行政区長の連絡組織である行政区長等連絡協議会がありました。自治会としての市全体の連絡組織がなかった本市。地域コミュニティの再生・活性化は、本市にとっての重点施策です。全自治会が連携し、情報の共有を図りながら、

各自治会の円滑な運営を促進すると共に、地域住民の要望、意見などを行政に反映させ、住みよい地域づくりを目指します。

設立総会では、規約の承認を経て、理事・役員を選出を行い、初代会長に藤田自治会長の中山糸男さんが選出されました。また、今年度より栃木県自治会連合会に加入することも確認し、地域の課題の解決に向けた情報交換を図っていくこととなりました。

した。

理事および役員は次のとおりです。(敬称略)

- 会長：中山糸男(藤田自治会長)
- 副会長：國井昌美(金井自治会長)
- 理事：矢口正則(上境一の沢自治会長)、黒須正夫(中山自治会長)、小池幸一(福岡自治会長)、相田保男(熊田西自治会長)
- 監事：瀧田道明(神長中自治会長)、吉成哲雄(大金自治会長)

# 祭りを支える人々にお話を伺いました。

7月27日(金)から29日(日)まで烏山市街地を中心に「山あげ祭」が開催されます。

今年の当番町「泉町」の若衆による準備も最終段階に入り、7月1日(日)には、当番町の小屋台に芸題を大書し、囃子方と共に全町(泉町、鍛冶町、日野町、元田町、金井町、仲町)を回る「奉告祭」が行われました。

今月号では、いよいよ始まる山あげ祭に向けて、山あげ祭を支える人々に「みどころ」を伺いました。

## 必見！木頭の指揮で素早い団体行動を見せる若衆



泉町若衆のみなさん

若衆としてお伝えしたいみどころは、木頭の指揮のもと素早く行う「舞台背景づくり」と「若衆の舞台裏の姿」です。

組織は、祭典中に交渉などを行う「世話人」、指示を出す「木頭・副木頭」、舞台、座敷、大山など各係の「主任」のほかに、指示に従って動く「若衆」で構成されています。

舞台の設置をしたり山を上げたりする作業や舞台裏での若衆の行動は、すべて木頭の拍子木の合図で行われます。華やかな



奉告祭で小屋台を引く泉町若衆。

舞台の裏側では、物語に沿って山の背景を変える「切り返し」の作業や、踊り子が渡る橋を館から舞台に架け、踊り子が踊りやすいようにしっかりと支えるなど裏方として重要な役割を果たしています。

また、楽しみ方の一つとして見ていただきたいのが、昼と夜の公演の違いです。夜の公演は、昼とは違い、山がライトアップされ、幻想的な世界が広がります。ぜひ、見比べて違いを楽しんでください。

## 主芸題「将門」。滝夜叉姫の登場とクライマックスはみどころ満載！

烏山山あげ保存会芸能部会には、祭りの舞台で歌舞伎舞踊を披露する「踊り子」と、舞台横の太夫座敷で三味線や浄瑠璃を担当する「常磐津」があります。部会員のほとんどは市内や近隣の市町の人で、下は2歳から稽古を積み、山あげの舞台や浅草で行われている子ども歌舞伎などで活躍しています。

祭りのみどころは、「全部」と言いたいところですが、芸能部会としてあげるならば、今年の主芸題「将門」の冒頭…滝夜叉



稽古に励む芸能部会のみなさん。

姫がガマガエルに乗って登場するシーンです。今回は、今年の当番「泉町」にしかない舞台背景「大滝」からの登場となります。いつもと違った雰囲気を感じてみてください。

また、クライマックスの立ち回りも迫力満点。迫真の演技と息の合った常磐津の三味線や浄瑠璃を、変化する山の背景とともに楽しんでください。



烏山山あげ保存会芸能部会のみなさん

# 山あげ祭の

# みずいづるは「」!

## 楽しみ方は踊りだけじゃない! 公演開始30分前後の若衆の動きにも注目

私がオススメしたいのは、祭り期間中に公演される踊りはもちろんですが、その公演時間の前後約30分に当番町によって行われる「舞台背景づくり」と、「片づけ・移動」です。

「移動式野外歌舞伎」として知られる烏山の山あげ行事（以下、「山あげ」と表記）は、その名のとおり、毎回同じ場所で行われるわけではなく、一つの公演が終わると舞台装置や背景となる山を解体し、次の公演場所へとそれらを運びます。祭り3日間ではそれが16〜17回程度繰り返されます。



烏山山あげ保存会  
島崎利雄会長

何も無かった道路に、当番町の屋台が到着すると、いよいよ舞台背景づくりのはじまり。それまで若衆が引いていた屋台も台車部分がメインステージの土台となったり、その約100メートル後ろでは電柱を超える約10メートルもの大山、手前に

今年、烏山の山あげ行事がユネスコ無形文化遺産に登録されてから2度目の山あげ祭を迎えます。

## 食事処の確保や交通渋滞の緩和： より一層のおもてなしを目指して

現在、山あげ祭実行委員会を中心に食事処の確保や交通渋滞の緩和をはじめ、ICTを活用した山あげ祭情報の発信機能の強化や4年ぶりとなるフォトコンテストの実施など、観光客に対する一層の「おもてなし」の充実に向け、着々と準備を進めているところだ。



山あげ祭実行委員会  
三森文徳委員長

山あげ祭が、世界に誇る貴重な宝として継承できるよう、烏山山あげ保存会との連携強化をはかっています。

は中山や前山が上がったりと徐々に舞台背景が完成していきます。すべて若衆の手により行われる様は勇壮で、これを見て「山あげの良さ」をもっと知ってもらえるのではないかと思います。

山あげを含む全国33の祭礼行事が平成28年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されましたが、移動式野外歌舞伎を行っているのは那須烏山市だけ。オンラインワンの祭りをこの夏ぜひご覧ください。

## ▼山あげ祭奉納余興の開演予定時刻および場所

順序	日	開演予定時刻	芸 題	場 所	方向
①	26	午後7時	三番叟・将門	泉町 会所前	南
②		午前9時30分	将門	御仮殿前	北
③		正午	将門	元田町 会所前	西
④	27	午後2時30分	将門	鍛冶町 会所前	西
⑤		午後5時	将門	日野町 会所前	西
⑥		午後7時30分	蛇姫様	泉町 青木商会前	南
⑦		午後9時	将門	泉町 石原食肉店前	南
⑧	28	午前10時	将門	仲町 会所前	南
⑨		午後1時30分	将門	金井町 会所前	東
⑩		午後5時	蛇姫様	泉町 久保田屋旅館前	北
⑪	29	午後6時30分	吉野山狐忠信	泉町 会所前	北
⑫		午後9時	将門	泉町 青木商会前	南
⑬		午前9時30分	将門	泉町 滝田商店前	南
⑭		午後1時30分	将門	山あげ会館	東
⑮	29	午後7時30分	吉野山狐忠信	泉町 石原食肉店前	南
⑯		午後9時	将門・関の扉・千秋楽	泉町 青木商会前	南

- <sup>しつぷり</sup>出御：27日 午前6時～出御祭  
6時30分～八雲神社出発
- <sup>と</sup>渡御：28日 午前6時～渡御祭  
6時30分～御仮殿出発
- <sup>かんぽ</sup>還御：29日 午後5時～還御祭  
5時25分～御仮殿出発

## 第19回南那須支部消防操法大会

# 市から2つの消防団が県大会へ出場

那須烏山市消防操法大会が、5月27日(日)、大桶運動公園で開かれました。

これは、消防機器の取り扱いや日頃の練習の成果を発表することで、消防技術の向上と団員の意識を高めるために隔年で開催しているものです。

緊張感が漂う中行われた大会では、ポンプ車操法の部で第5分団第1部(藤田)が優勝、第4分団第1部(興野)が準優勝。小型ポンプ操法の部で第4分団第3部(八ヶ平・中山・平野)が優勝、第6分団第4部(月次・大金山)が準優勝の成績を収め、支部大会への出場を決めました。



上から、ポンプ車操法、女性消防団による操法(ともに市消防操法大会)、県大会出場を決めた藤田のポンプ車操法(南那須支部消防操法大会)。

署で開かれた「第19回栃木県消防協会南那須支部消防操法大会」には、2部門に本市と那珂川町から8チームが出場しました。互いにレベルの高い技術を見せ、本市は、ポンプ車操法の部で第5分団第1部(藤田)、小型ポンプ操法の部で第4分団第3部(八ヶ平・中山・平野)が優勝。7月28日(土)に栃木県消防学校で開かれる県大会への出場を決めました。

第5分団第1部の塩田一幸部長は、「今年こそは県大会で上位に入賞したい」、第4分団第3部の黒須秀人さんは、「過去2回の成績よりも良い成績を残したい」と話していました。



八ヶ平・中山・平野の小型ポンプ操法(南那須支部消防操法大会)。

地域おこし協力隊の市田さん

## 公民館講座

# 「コーヒー研究室」を開講

那須烏山市地域おこし協力隊の市田久美子さんが講師を務める公民館講座「コーヒー研究室」が、6月12日(火)と19日(火)に開かれ、地域住民19人が受講しました。

本市では、協力隊員が講師を務めるのは初めて。市田さんは、カフェを経営していた経験をもとに、ペーパードリップで自宅でもおいしいコーヒーを入れるコツやコーヒーの効果、豆選びの基本など実践を交えながら参加者へ伝授しました。

参加者からは、「コツを押さえるだけでこんなにおいしいコーヒーが入れるようになる」と思っていたいなかった」と喜びの声が上がりました。



コーヒーの入れ方を伝授する市田さん(中央)。

命の尊さや子育てへの  
理解を深める

## 思春期ふれあい体験教室

6月11日(月)、12日(火)、南那須中で「思春期ふれあい体験教室」が開かれ、3年生の生徒74人が受講しました。

これは、思春期の心身の変化や特徴について正しく知ること、赤

ちゃんと母親とのふれあいをとおして命の尊さや子育てへの理解を深めることなどを目的に、毎年、市内の中学3年生を対象に開かれているものです。

当日は、助産師と保健師から胎児の成長過程や、乳児の発育について説明されたほか、妊娠疑似体験なども行われました。その後、子育て中の母親と赤ちゃんが同校を訪れ、生徒たちは赤ちゃんを抱っこしたり、おもちゃであやしたりしてふれあいました。

受講した寺澤賢俊さんは、「抱っこすると泣いたり笑ったり、赤ちゃん一人ひとりに個性があった。泣いてしまうとどう接していいかわからず、子育ては大変だと思っただ」と話していました。

上下とも、赤ちゃんを抱っこしたりあやしたりする生徒たち。

## 新しい集団広聴事業がはじまりました！ 子育て中のママが市長と意見交換

市では、市民の声を市政に反映するため、自治会・行政区主催による市政懇談会や広聴箱設置による広聴事業を展開しています。

その新たな取り組みの一つとして、6月12日(火)、南那須中で行われた思春期ふれあい体験教室に参加した子育て中の母親7人を対象に集団広聴事業が行われました。

この日は、川俣純子市長が同校に出向き、参加者の日頃の悩

みや疑問に感じていることなどを聞き取りました。懇談の中では、「小さな子どもが安心して遊ぶことのできる公園がほしい」や「施設に授乳スペースを増やしてほしい」など子育て世代ならではの意見のほか、「道の駅の整備」といった市政に関する意見も飛び交い有意義な時間となりました。

市では、今後も様々な機会をとおした広聴事業に取り組んでいきます。

## 移動音楽鑑賞教室が 境小にやってきた！

## 児童が生のジャズ演奏を堪能

県内の小・中学生を対象に、優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操を育むことを目的とした「栃木県移動音楽鑑賞教室（県教育委員会主催）」が、6月6日(水)、境小で開かれました。

当日は、国内外の音楽フェスに出演するなどして活躍する「ブラックボトムブラスバンド」が境小を訪れました。教室が始まると、トロンボーンやサクソフーン、トランペット、スーザフォンなど6種類の楽器を持った演奏者らがマーチ

ングを披露しながら登場。その後、児童たちは、音楽に合わせて体を動かしたり、大声でリズムを取ったり全身でジャズを楽しみました。また、各学年の6人が演奏に加わり、バスドラムやスネアドラムを叩く体験も行われるなど、貴重な一日となりました。

6年の前沢歌歩さん（上境）と佐藤愛莉さん（小木須）は、「心が躍るような楽しい気持ちになった。楽器の近くに行って演奏を聞け、迫力があってワクワクした」と笑顔を見せていました。

奏者を囲んで鑑賞する児童。

市長と意見交換する子育て中の母親。



# 市民がスポーツで大活躍！ 関東・全国、そして国際大会へ…

市内出身の選手が様々な大会において、優秀な成績を収めました。ソフトボールでは、日本体育大の中山日菜子さんが全日本大学選抜として国際大会へ出場。レスリングでは、馬頭高の高森勇斗さんが全国ベスト8の成績を収めたほか、グラウンド・ゴルフ、空手道、剣道の種目で、個人・団体が関東や全国大会に出場し、大健闘しました。また、県大会で上位に入賞を果たし、全国大会の切符を手にし、練習に励んでいる選手もいます。今回、活躍を見せた選手を紹介します。

## ソフトボール



【ソフトボール】中山さん。

日本体育大2年の中山日菜子さん（藤田出身）が全日本大学選抜の17人に選ばれ、投手として、6月12日（火）～15日（金）に台湾南投市で開催された「第7回東アジアカップ」に出場し、中国、韓国、香港、チャイニーズタイペイのチームが参加する中、優勝を果たしました。

中山さんは、初日の対香港戦に2番手として出場。2回を投げ



東アジアカップで優勝した全日本大学選抜チーム。

ノーヒット4奪三振に抑えました。大会を終えた中山さんは、「海外の選手は、日本人と比べて投打のパワーがあると感じた。この大会で投げた経験を活かし、オリンピックに選手として出場できるように努力します」と話していました。

## レスリング

馬頭高2年の高森勇斗さん（中山）が、4月14日（土）、15日（日）に神奈川県横浜文化会館で開催された「JOCジュニアオリンピックカップ大会2018年度全日本ジュニアレスリング選手権」に出場し、全国ベスト8に輝きました。高森さんは、高校入学と同時に、それまでやっていた柔道からレスリングへと転身。昨年は120キロ級で大会へ出場していましたが、1年間で30キロの減量に成功し、92キロ級での大会出場となりました。この大会での結果を受けて高森さんは、「ベスト8は嬉しいけれど、負けたことは悔しい。練習を重ねまた大会に挑みたい」と話していました。



【レスリング】高森さん。

また、高森さんは、6月1日（金）～3日（日）に千葉県で行われた「第34回全国高校生グレコローマンレスリング選手権大会県予選会」の92キロ級で優勝。8月16日（木）～19日（日）に大阪府で行われる全国大会への出場が決まりました。

さらに、6月16日（土）に足大附体育館で行われた「全国高等学校総合体育大会三笠宮賜杯 第65回国高等学校レスリング選手権大会県予選」の92キロ級でも優勝し、高校総体（インターハイ）への出場を決めました。大会は、8月4日（土）～7日（火）に三重県で行われます。

## グラウンド・ゴルフ

高久サト子さん（滝田）が、6月5日（火）、6日（水）に岡山県総合グラウンドで開かれた「第12回全国グラウンド・ゴルフレディス交歓大会」に出場しました。

高久さんは、6年前から地域で活動する滝田愛好会に所属し、愛

好会のメンバーとともに腕を磨いています。今回、県予選を勝ち抜き、県の代表として初めて全国大会へ。大会では、全国各地から約650人の選手が集う中、1打差で6位入賞を逃す惜しい結果となりましたが、大健闘の成績を残しました。

大会を終えて高久さんは、「とても悔しい思いをしたが、楽しんで試合に挑むことができた。良い経験になった」と話していました。



【グラウンド・ゴルフ】高久さん。

## 空手道

5月4日（金）に県北体育館で開催された「第37回栃木県空手道少年錬成大会」で、白聖会空手道スポーツ少年団に所属する境小5年の大輪莉央奈さん（下境）が小学5年生女子組手の部で優勝、境小2年生女子組手の部で準優勝、鳥山小2年の荒井斗真さん（神長）が小学2年生男子組手の部で3位、

七合小3年の荒井萌維さん(興野)が小学3年生女子組手の部で3位、南那須空手道スポーツ少年団に所属する七合小4年の五十嵐大夢さん(大桶)が小学4年生男子組手の部で3位の成績を収めました。

5人は7月1日(日)に東京都墨田区総合体育館で行われた「第7回関東少年少女空手道選手権大会」に出場。大輪(莉)さんが3位、大輪(咲)さんがベスト16に輝きました。また2人は、8月4日(土)5日(日)に東京都の東京武道館で行われる「第18回全日本少年少女空手道選手権大会」にも出場します。大会を前に、3年連続で全国大会に出場する大輪(莉)さんは、



〔空手道〕右から、荒井(斗)さん、荒井(萌)さん、大輪(咲)さん、大輪(莉)さん。



〔空手道〕五十嵐さん。

「今まで以上に練習をして優勝したい」、大輪(咲)さんは、「全部の大会で優勝したい」、荒井(斗)さんは、「今までよりももっと強くなつて関東大会で優勝したい」、荒井(萌)さんは、「負けてしまった相手よりも関東大会で良い成績を残したい」、五十嵐さんは、「初めて出場するので1試合でも多く勝てるように頑張りたい」と意気込みを語りました。

さらに、大輪(莉)さんは6月3日(日)に県南体育館で開かれた「第14回栃木県スポーツ少年団空手道交流大会」小学5年生女子組手の部で準優勝。7月27日(金)29日(日)に山梨県で行われる「第37回関東ブロックスポーツ少年団空手道交流大会」に出場します。

### 剣道

5月26日(土)に県南体育館で開かれた「第33回栃木県道場少年剣道大会」小学生団体の部で宏倫剣道スポーツ少年団の5年生チームが

ベスト16に入り、「第53回全国道場少年剣道大会」への切符を手に入れました。

出場を決めたのは、荒川小の渡邊錬さん(曲畑)、沖村昂輝さん(小倉)、小西勇太さん(福岡)、江川小の滝口桃子さん(志鳥)、七合小の小森咲芽さん(興野)の5人。同少年団が栃木県道場連盟に加入し、この大会には5回目の出場となりますが、全国大会へは初めての出場となりました。

5人は、「先輩たちが今まで全国大会へ行けなかった分、チームの皆で一致団結して一勝でも多く勝ち進みたい」と意気込みを話していました。



〔剣道〕右から、小森さん、滝口さん、小西さん、沖村さん、渡邊さん。

全国大会は、7月24日(火)、東京都の日本武道館で開催されます。

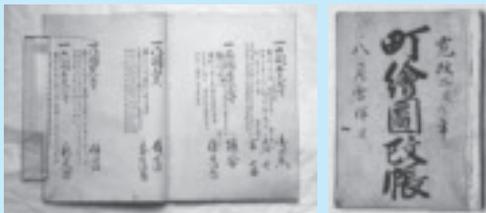
頑張る皆さんを応援します!!



## シリーズ 市の文化財 第86回

市指定有形文化財(歴史資料)

町絵図改帳 (個人蔵)



町絵図改帳は、寛政の町絵図(市指定文化財)と一体をなすものです。

町絵図改帳の表紙には、「寛政二庚戌年八月吉日」とあり、寛政の町絵図の作製年月、寛政2年(1790)と一致しています。この改帳には、正徳年間(1711~1716)に作製された町絵図を基に調べ直したことや町絵図を改める際の要領が書かれており、町年寄、名主、組頭など、町の代表11人の連署と押印があり、当時の町の様子がわかる貴重な資料です。なお、寛政の町絵図は、複製を山あげ会館に10月末まで展示しています。

小・中学校6校で

# 運動会・体育祭

6月に入り、市内6つの小・中学校で運動会や体育祭が開かれました。それぞれの学校では、家族や地域住民が見守る中、徒競走や応援合戦、ダンスなど様々な競技が行われ、児童や生徒は懸命に競技に取り組みました。その様子を写真で紹介します。



④



①



⑤



②



⑥



③



⑦

[写真] 懸命に競技に取り組む児童・生徒 (①②烏山中、③④南那須中、⑤⑥江川小、⑦境小、⑧⑨七合小、⑩⑪烏山小)。



## 小学生の英語力向上!

# イングリッシュシユキヤンプ

市では、生きた英語による体験活動を通して、日本の文化や習慣を再発見するとともに、コミュニケーション能力や英語および外国語活動、地域への興味関心を高めるため、6月10日(日)、烏山公民館で「イングリッシュシユキヤンプ」を開催しました。

当日は、市内の小学5、6年生11人が参加。カードを使ったゲームやALT（外国語指導員）による様々な国のカルチャークイズを行い、英語を楽しく学びました。また、烏山体育館でも、ジェスチャーゲームなど活発な活動を楽しみました。



⑧



⑨



⑩



⑪



境小運動会より。

烏山小6年の益子結さん(旭1丁目)は、「ALTとのゲームを通して英語が楽しく勉強できて嬉しかった」と話していました。



質問に英語で答える子どもたち。

## 思いやりの心を育む 烏山小に人権の花を贈呈

6月7日(木)、烏山小学校で「人権の花」の贈呈式が開かれ、宇都宮人権擁護委員協議会那須烏山支部会から同校にペゴニアの苗120株が贈られました。

これは、子どもたちが花を育てることで命の大切さを感じ、豊かな心を育んでもらおうと毎年市内の小学校に向けて行われているもので、当日は、同支部会の3人が同校を訪れ、児童に苗を手渡しました。

贈呈式では、同支部会の滝原一夫さんが、「きれいな花が咲くよう育ててください。そしてみなさんも笑顔の花を咲かせてください」とあいさつ。それを受けて児童代表の6年長谷川岬音さんは、「人権の花を大切に育て、花がいっぱいの学校にしたい」とお礼の言葉を述べました。

寄贈された苗は、同校の花壇に植えられ子どもたちが育てます。



児童へ苗を手渡す宇都宮人権擁護委員協議会那須烏山支部会。

## 那須烏山市と高根沢町で 初！同時開催 カラセンめぐり市

このイベントは、同日にJRグループの大型観光企画「本物の出会い 栃木 DESTINATION ショッピングセンター(DC)」で、上野―宝積寺駅間を運行した「ほろ酔いとちぎ号」に合わせて企画されたものです。

本市会場の烏山駅前広場は、NPO法人クロスアクションがプロデュースし、地域の食材を使った料理や農産物の販売、カフェ、アクセサリー店など15店舗が出店しました。なかには、バルーンアートやデインプルアート、ハーバリウムの製作体験ができる店舗もあり、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

また、この日は烏山駅前を発着点に観光周遊バスも運行し、観光客に乗せたバスは、どうくつ酒蔵や龍門の滝など市内を巡りました。



上：親子連れなどでにぎわう会場。  
下：ハーバリウムの製作体験。

## インスタフォトコンテスト開催中 ～からせん(沿線)小さな出会い～

JR烏山線沿線まちづくり推進協議会では、「JR烏山線沿線地域(那須烏山市・高根沢町)の魅力を生かし、「行きたくくなるような」写真をテーマにインスタフォトコンテストを開催しています。

■応募方法 応募手順は大きく2つ！

- ①JR烏山線沿線まちづくり推進協議会Instagram公式アカウント「@enrokarasen」をフォローする。
- ②「#karasengadaisuki」「#からせんがだいすき」の2つのタグを付けてInstagramに投稿する。

■フォトコンテスト実施期間

2018年11月30日(金)まで

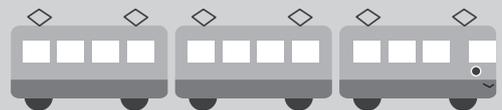
■応募に関する注意

写真は高解像度で撮影(600万画素以上)したものを投稿してください。

■特典

投稿者の中から入賞者5人に那須烏山市と高根沢町の特産品をプレゼント。また、入賞者5人と佳作15人の写真を掲載した写真集を作成してプレゼントします。

詳しくは、同協議会ホームページ  
(<http://www.enro-karasen.jp/>)をご覧ください。



## 栃木県内で 初めて開催！ 第36回化石研究会総会・学術大会

6月2日(土)、3日(日)、全国各地の研究者や学生などで構成される化石研究会(三島弘幸会長)による「第36回化石研究会総会・学術大会」が、烏山公民館で開かれ、県内外から2日間で延べ106人が参加しました。

これは、北関東の大地の成り立ちと化石について討論し、那須烏山ジオパーク構想について紹介することを目的に県内で初めて開かれたものです。

初日のシンポジウムでは、「北関東の大地と化石」として、宇都

宮大学名誉教授の酒井豊三郎さんによる基調講演「日本列島の形成史における北関東地域の重要性」をはじめ、産業技術総合研究所の高橋雅紀さんによる「大陸から列島へ―日本海の拡大を記録する関東地方の地質―」など有識者によって7講演が行われました。

翌日は、一般講演として、有識者による口頭発表6件や那須烏山ジオパーク構想推進協議会委員によるポスター発表4件が行われ、同会員のほか、地域住民なども参加しました。



有識者による講演。

## 薬剤師が行う在宅医療

薬剤師は、医薬品全般について、幅広い知識を持つ「薬」の専門家です。薬局での窓口業務の他に、在宅で療養をしている患者で、通院が困難な人には、医師の指示に基づき患者のお宅を訪問しています。

### こんなことでお困りではないですか？

- ・体が不自由で薬局に行けないので、自宅まで届けてほしいな…
- ・いろいろな病院から薬をもらっているけど、飲み方や飲み合わせは大丈夫かな？
- ・薬の管理が難しくなってきたので、何か方法はないかな？
- ・最近、薬が飲み込みにくくなってきたので、何か方法はないかな？



### 薬剤師はどんなことをしてくれるの？

#### ○薬の「飲み方」や「飲み合わせ」、「副作用」などの説明

自宅に訪問した際、患者の体調や生活状況（食事内容や健康食品・サプリメントの使用など）を把握し、お薬の効果に影響がないかを確認します。

#### ○薬の管理が難しい・飲み忘れが多い場合などの対応

飲み忘れや飲み誤りなど、薬の管理が難しくなっている場合、患者と家族と相談して、薬を1つの袋にまとめる一包化やお薬カレンダーの利用などを検討します。また、家に飲み残した薬が多くある場合は、処方医と連絡を取り、薬の日数などを調整することもできます。



飲み残した薬の量は、在宅の75歳以上の高齢者だけでも年間500億円を超えとも言われています！

#### ○飲みにくい薬への対応

錠剤やカプセルが飲み込みにくくなってきた患者には、処方医と相談のうえ、口の中で溶ける薬（OD錠）や粉薬への変更なども検討していきます。



薬剤師は、地域の医療・介護の専門家とチームを組んで、在宅訪問に取り組んでいます。

※在宅についての疑問や、在宅に対応している薬局かなど詳しくは、かかりつけの薬局・薬剤師にご相談ください。



南那須薬剤師会

## 消費者コラム⑬

# 消費者ほっと♥らいふナビ

皆さんはLINEやFacebook、TwitterなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス：インターネット上で友人・知人等とつながり、交流できるウェブサイトサービス）を利用していますか？2016年の総務省の調べによると、SNSの利用率は全体で71.2%、20歳代は97.7%と、非常に多くの人々が利用しています。

SNSは、多くの人と簡単につながることができる便利なものです。しかし、その便利さを利用した詐欺やトラブルも増えています。

SNS利用率 (2016年)	10代	20代	30代
	81.4%	97.7%	92.1%
40代	50代	60代	全体
78.3%	60.8%	30.7%	71.2%

〔出典〕総務省情報通信政策研究所「情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

### 【SNSをきっかけとしたトラブル事例】

- ・SNSで知り合った人から出会い系サイトに誘導された
- ・SNSの知人からマルチ商法に勧誘された
- ・SNSの「チケット売ります」の投稿を見てお金を振り込んだがチケットが届かない
- ・SNSの広告を見て「お試しサンプル」を注文したが定期購入になっていた

### 【消費者の皆さんへのアドバイス】

- ① SNSで知り合った相手の話をうのみにしない！
- ② 個人間での取引は補償がないので慎重に！
- ③ SNSに登録・掲載する情報はよく確認・検討を！
- ④ SNSの投稿は友人だけでなく、知らない人に見られる可能性があることを忘れずに！

表をご覧くださいてもわかるように、未成年者の多くもSNSを利用しています。保護者より子どもの方がネットに詳しくたとしても、経験が乏しい子どもだけでは対処できないトラブルもあります。子どもに、ネットの安全に関するルールを教えることは、交通規則を教えるのと同じくらい重要なことになっています。

ネットやSNSでできてしまうこと、今ネットやSNSで何が起きているのかをよく知って、自分の身や子どもたちをトラブルから守りましょう。

那須烏山市消費生活センター（烏山庁舎1階、商工観光課内）

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン ☎188（局番なし）」へご相談ください。

幻想的な光が舞う

# 各地でほたるイベント続々と

市内各地でほたるの保全などに取り組む団体が、ほたる祭りや観察会を開催しました。それぞれの団体では、環境汚染などでほたるが減少する中、市内の豊かな自然を守るうと、ほたるが生息できる環境をつくる取り組みを行っています。

今年もたくさんの方々が幻想的に夜空を飛び交い、訪れた人々を楽しませました。



魚類生き物調査(興野)。



フォルクローレコンサート(大木須)。



ほたるを観察(猿久保田んぼ)。



サッカー教室(横枕)。

## おおぎすホテルの夕べコンサート

里山大木須を愛する会(川野邊眞会長)による「第14回おおぎすホテルの夕べコンサート」が、6月9日(土)、大木須のオオムラサキ公園で開かれ、約500人が訪れました。

会場では、客席のテーブルに置かれたロウソクの火が辺りを照らす中、宇都宮市で活動する音楽団体「ロス・コンパニユロス」による南米の音楽「フォルクローレ」をメインとしたコンサートが行われ、陽気な音楽で来場者を楽しませました。

そして辺りが暗くなった午後8時頃。水路には無数のほたるが現れ、来場者からは歓声が上がりました。

また、同会は、6月2日(土)から30日(土)まで公園内に「ほたる案内所」を開設し、市内外から訪れた約1320人を観察スポットへと案内しました。

## 興野ほたるの夕べ

6月10日(日)には、興野ほたるの里づくり環境保全会(阿相孝一会長)による「水路クリーン&興野ほたるの夕べ」が興野集会所で開かれ、地域住民など約50人が訪れました。

当日は、あいにくの天気により、ほたるの鑑賞会は行われませんでした。が、同会で考えたウォーキング

コース内の水路クリーン作戦や魚類生き物調査、ほたるの勉強会など様々な催しが行われました。

## 横枕ほたる祭り

6月16日(土)、横枕青年団(生魚貴宏団長)による「第9回横枕ほたる祭り」が横枕文化伝承センターで開催され、約300人が訪れました。

元日本リーグ所属の佐藤敬さんらによるサッカー教室が開催され、今年初めて那珂川町の馬頭東サッカークラブからも参加し、地域の子どもたちと交流を深めました。毎年恒例となった動植物生き物自然観察会では、環境カウンセラーと一緒に、会場付近の水路で水生生物などを採



# まちのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112

## 集・観察しました。

日が暮れるころには、「ほたるカフェ」もオープンし、手作りケーキや紅茶などが提供されました。

## 猿久保田んぼ公園ほたるの観察会

荒川南部地域保全会(久郷道泰会長)による「ほたるの観察会」が6月16日(土)、小埜の猿久保田んぼ公園で開かれ、子どもから大人まで約80人が参加しました。

同公園は、今年、例年になくほたるが現れ、公園へ向かう沿道には、ほたるが飛び交いました。参加者たちは、同会員の案内のもとほたるの観察や幻想的な光を鑑賞し、楽しい時間を過ごしました。



朝食を提供するクロスアクションのスタッフ。



園内でモーニングカフェを楽しむ参加者。

## 朝摘みさくらんぼ狩り×モーニングカフェ さくらんぼ園で朝の優雅なひと時を

観光さくらんぼ園「ぼくんちの樹」で、6月10日(日)、「朝摘みさくらんぼ狩り×モーニングカフェ」が開かれ、地域の親子連れなど22人が参加しました。

これは、開園5周年特別企画としてNPO法人クロスアクション（高橋誠一代表）と同園（川田輝男代表）が共催で開いたもので、さくらんぼの食感が一番おいしいとされる早朝にさくらんぼ狩りを体験してほしいという思いから企画されました。

当日、参加者は早朝7時からさくらんぼ狩りを体験。その後、朝食として、同園の川田代表が手作りしたポテトサラダやヨーグルト、さらには、紅さやかと佐藤錦のさくらんぼで作ったジャムのほか、大和久福祉会就労支援事業所パン職人いっぴのパンが振舞われました。参加者は、真っ赤に実ったさくらんぼと緑の葉が生い茂る園内のモーニングカフェを楽しみました。

## 市民カフェで歌声広場

昭和の名曲や  
フォークソング楽しむ



マイクを回しながら昭和の名曲など歌を楽しむ参加者。

市民カフェ35番館で開かれていた歌声広場が話題となっています。

これは、昨年7月に本市に移住してきた「音の旅人くみ∞せい」こと川崎清一さんとくみさん夫婦が、音楽をとおしてまちおこしがしたいと今年4月から始めたイベント。市民カフェを経営するスタッフが協力し、毎月1回開催されています。

毎回、地域住民のほか、評判を聞きつけ、日光市や佐野市など市外からも訪れる人がいるほ

ど好評で、リピーターも多いといっています。

3回目の開催となった6月8日(日)には、約30人が訪れ、およそ2時間にわたり、ギターやピアノの伴奏で昭和の名曲や懐かしいフォークソングなど約80曲のレパートリーの中から、リクエストに応え、参加者と一緒に歌声を響かせました。また、途中の休憩には、市民カフェ特製のスイーツとコーヒーが振舞われ、参加者同士の会話を楽しみながら交流を深めました。

## 子どもたちがぎゅるる田んぼの田植え

どろんこ田んぼ体験事業に取り組む七合会(木村保司会長)と大桶地域みどり保全会(木村義二会長)では、5月27日(日)、古代米の田植え体験を開きました。18回目を迎えるこの体験には、ボーイスカウトやガールスカウト、若鮎クラブ、育成会、桔梗寮の子どもたちなど約150人が参加。古代米など4種類の苗を、子どもから大人まで泥だらけになりながら一生懸命に植えました。

その後、魚のつかみ取り体験が行われ、那珂川中央漁業協同組合の協力でニジマス30キロが隣接する水田に放流されました。子どもたちは、素早く逃げるニジマスを懸命に追いかけ、「捕まえた！」と元気な姿を見せていました。

また、昼食には地域のボランティアが手作りした「古代米のおにぎり」と「とん汁」が振る舞われ、田植えや魚のつかみ取りで疲れた体を癒しました。



古代米の田植え体験。

# おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住所  
 石川陽(将之・直美)神長所  
 水井奏(健太・麻衣)大金  
 野尻明日香(真紀・智子)月次  
 粟野尋(博明・理恵)興野  
 大金咲(順・由莉)志鳥  
 小川幸(花・真幸・花苗)谷浅見  
 齊藤要(研・留美)志鳥  
 栗田湊(翔・智史・仁美)下川井  
 深津芽吹(英司・幸子)東原

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

# スポーツの結果★

●第37回栃木県壮年ソフトボール大会  
 南那須支部予選会(5月8日(火)～10日(木)、緑地運動公園)  
 ▼優勝・荒川南 ▼準優勝・三箇 ▼第3位・藤田(こぶし)台

●第10回那須烏山支部ナイター野球大会  
 (5月12日(土)、19日(土)、20日(日)、緑地運動公園)  
 ▼優勝・藤田クラブ ▼準優勝・烏山RED SOX ▼第3位・南大和久

●平成30年度春季男女混合台市民バレーボール大会  
 (5月14日(月)～16日(水)、南那須中体育館)  
 ▼優勝・からくず ▼準優勝・四ツ葉 ▼第3位・ポリス

●第1回草加市ジュニア空手道交流大会  
 (5月20日(日)、草加市健康都市記念体育館メインアリーナ)  
 「小学1～2年女子組手」▼優勝・大輪

## 住民サービスの向上と行政の効率化に貢献！ 氏家税務署から市が感謝状を授与

確定申告書の「データ引き継ぎ」を積極的に実施したとして、6月19日(火)、市役所烏山庁舎で氏家税務署(大谷克彦署長)から本市へ、感謝状が贈呈されました。



このデータ引き継ぎとは、市町村の申告会場において申告書作成システムを利用して作成された所得税などの確定申告書を税務署へe-Taxにより送信するというもの。同税務署管内の6市町でも、住民サービスの向上と行政の効率化を図ろうと、平成29年分確定申告期の30年1月から運用を開始しました。

大谷署長から感謝状を受け取る川侯市長。

29年分の確定申告で本市が約2900件、6市町全体では約1万2千件のデータを送り、全国524の税務署別でトップの送信件数となりました。大谷署長は、「全国で1位になれたのも6市町すべてがデータ引き継ぎに取り組んでくれたおかげ。今後取り組む自治体のモデルケースになる」と謝辞を述べました。

# 「おめでとう」のついでに

映奈(白聖会空手道) 「小学6年男子組手」  
 ▼準優勝・生魚祐晴(白聖会空手道) 「小学1～2年女子組手」▼第3位・大輪

●第14回栃木県スポーツ少年団空手道交流大会(6月3日(日)、栃木県南体育館)  
 「小学5年女子組手」▼準優勝・大輪莉央奈(白聖会空手道) 「小学3年女子組手」▼第3位・荒井萌維(白聖会空手道)

●平成30年度春季婦人バレーボール大会(6月4日(月)～6日(水)、南那須中体育館)  
 ▼優勝・四ツ葉 ▼準優勝・からくず ▼第3位・藤田

■ふるさと応援寄附金  
 新田泰三様(東京都練馬区)、高橋聡様(神奈川県横浜市)から各1万円、新沢清様(東京都墨区)から8万円、匿名希望者様19人から計21万5千円が本市に寄附されました。

■市立図書館図書寄贈  
 ・山田清様(森田)から「食と農、地域への想い 随筆「やみぞ」」20年のあゆみ」4冊が寄贈されました。

# 編集後記

○梅雨明け早かったですね。関東甲信で6月の梅雨明けは統計開始以降初だとか…。平年より22日早いと聞いてちょっとビックリ！急に猛暑日が続いて体がついていきません。○暑さのせいなのか、最近、家の玄関を車のカギで閉めようとグリグリしていたり、踏切の手前で一時停止したまま「信号変わらないな」と何か勘違いしてしばらく止まっていたり…(もちろん、信号機なんてないんですけど)。ちょっと自分でもいんな意味で心配になります。○うちの母も、この間「今夜は、チースカッタルピよ！」と言っていたっけ。正解は、「チーズタッカルピ」です。そうとう夕食の支度がカッタルかったんですね。これも暑さのせいにしておきます。

○それはさておき、私は、暑くなりそうだなと思った日は、「梅干し」を食べるようにしています。熱中症対策に梅干しを入れたドリンクが良いようなので、今度挑戦してみようと思っています！お祭りが増えるこの時期、みなさんも体調管理気を付けてくださいね！！



# Information

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★  
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

## ★一般図書★

『マンガでわかる！人工知能』松尾 豊  
『ふしぎな県境』西村 まさゆき  
『成功ではなく、幸福について語ろう』岸見 一郎  
『あなたは5秒で熟睡できる』松原 英多  
『シルバー川柳入門』水野 タケシ  
『自宅でできる！筋力トレーニング大全』山本 圭一  
『おなかですいたハラペコだ。2』椎名 誠  
『曇り、ときどき輝く』鎌田 實  
『恋の川、春の町』風野 真知雄  
『ロンリネス』桐野 夏生  
『ふたつの夏』谷川 俊太郎  
『青嵐の坂』葉室 麟  
『ミルク・アンド・ハニー』村山 由佳  
『ニードルス』花村 萬月  
『六月の雪』乃南 アサ

## ★児童図書★

『超能力者大百科』こざき ゆう  
『目に見えない微生物の世界』エレーヌ ラッジカク  
『動物進化ミステリーファイル』大淵 希郷  
『君たちは夢をどうかなえるか』松本 零士  
『滞空型キッズおり紙ヒコーキ』戸田 拓夫  
『まさかのハッピーエンド 1』サラ ムリノフスキ  
『うみにいったネコ』石井 綾子  
『フェルムはまほうつかい』スギヤマ カナヨ  
『ねるじかん』鈴木 のりたけ  
『おしりどろぼう』陣崎 草子  
『おしらさま』柳田 国男

2018.6.1現在  
( )対前月比

人口 25,883(-29)

男 12,810 女 13,073

出生 10 死亡 45

転入 57 転出 51

世帯数 9,404

## 市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ  
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目  
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

五月晴れ体育祭の声援は校庭中に鳴り響くな  
梅雨空のアジサイの花 須田 孝子(城 東)  
愛らしい花 清水 利夫(志 鳥)  
優しい介護足らざりしを悔いせめてもとカーネー  
ション飾るべうつらに 川俣登志子(旭)  
夕焼けがきれいだよとう夫の声家事の手を止  
め二階に急ぐ 安藤 白麗(旭)

## 短歌

福澤 悦子 選

義理チョコにお返し悩む独り者 関 元氣(小 埜)  
いつの間に歳相応の髪となり 吉澤 恒子(落 合)  
庭の松枯れて庭師の手間がへり 古内 晴代(金 井)  
初孫がスマホ片手に持ち歩き 篠崎 酔月 選

## 川柳

篠崎 酔月 選

新緑や鬨病の君癒えしこと 塩坂美枝子(南大和久)  
水打ちてしばし眺むる庭景色 西森 一雄(南大和久)  
山あげに興じて響むはたた神 柳 つしま(中 央)  
お囃子の響く会館ソーダ水 水野 信一 選

## 文芸コーナー

## ラジオ「なすから情報局」絶賛放送中!

レディオベリー (FM栃木) で那須烏山市の魅力をお届けする「なすから情報局」を放送しています。

放送局：76.4FM RADIO BERRY

日時：毎週火曜日午後3時30分～

※10分間

※番組の進行状況により開始時間が遅れる場合があります。

■まちづくり課 ☎0287-83-1151



## 安心な暮らしをサポート!

三井住友海上代理店

## (有)しおや保険事務所

◇損害保険：自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠償

◇生命保険：新総合収入保障・新医療・ガン・年金

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL：0287-88-9870

FAX：0287-88-0234

## シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編③～

### 烏山学+（プラス）

烏山高では、「烏山学」の発展型として、今年度から2年生を対象に「烏山学+（プラス）」がスタートしました。

「烏山学+」では、「烏山の外から烏山を見る」ということをテーマに、昨年度行った烏山学から発展した8つのプログラムに分かれて学んでいきます。

その初めの活動として、共通プログラム「烏山城を知る」が、烏山高で5月28日(月)に開かれ、埋蔵文化財センター前所長の上野修一さんを講師に、地域学習の意義に関する講話が行われました。その後、生徒たちは、5月30日(水)、6月13日(水)、18日(月)の3日間でクラスごとに烏山城跡を訪れ、市文化振興課学芸員の案内で城跡を巡りました。説明を聞きながら烏山城の門の跡地や、石垣、堀を見学することで当時の情景を思い浮かべ、市の歴史に思いを馳せました。



#### 生徒の声 2年 仲沢伊織さん（野上）

学芸員からの説明で、城を何度か攻められたことがあったものの、撃退したという話を聞きました。実際に訪れてみて、確かに簡単には攻め落とされない城だと感じました。烏山にかけて城があったことは知っていましたが、実際に城跡を見ることで、改めて烏山城や市の歴史に興味をもちました。僕は、歴史ある烏山に住んでいることを誇りに思います。もっといろいろな人に市の歴史や烏山城について知ってもらいたいと思いました。

#### 生徒の声 2年 須田菜月さん（中央）

長年烏山に住んでいましたが、高校の近くにかつて立派な城があり、今年が築城600年の記念の年であるということは知りませんでした。今回、学習して、烏山城は東、西、南側に川があり、北には谷が複雑に入っているために、簡単には攻め落とされないような立地であるということを知りました。また、今でも江戸時代に作られた石垣や堀が残っていて、歴史を感じることができ、自分が生まれ育った市の歴史についてもっと知りたいと思いました。

## 那須烏山ジオパーク構想だより ⑮

〔築城600年記念烏山城特集〕

烏山城と関わりのある文化財についてご紹介します。

宮原八幡宮は、延暦14年（795）坂上田村麻呂が蝦夷討伐の勝利を祈願し、筑紫山に宇佐八幡を勧請したのが始まりとされ、明応2年（1493）烏山城主那須資実が城域拡張を行った際、現在地に移転遷宮したと伝えられています。

以後、歴代城主の崇敬と庇護を受け、多くの文化財が現存しています。

那須家六代の墓は、天性寺にあります。延宝3年（1675）、烏山城主板倉重種が城内拡張のため、現在地に移転しました。下那須氏六代（資持・資実・資房・政資・高資・資胤）のものと推定されていますが、墓石名は風化により判読できていません。



那須烏山市の皆様へ  
「ハンターマウンテンゆりパーク」  
特別割引券のご案内

日本最大級 400万輪の ゆり博

特別割引券 ¥1,100 ¥550

有効期間 2018年7月14日(土)～8月26日(日)  
営業時間 9:00～16:00 (7/27～7/28 16:15)

ハンターマウンテンゆりパーク  
〒321-0002 那須烏山市中央1丁目1番1号 TEL:0287-83-4000

有料広告